

令和2年度 川鶉から放流直後の鮎の稚魚を守る対策

- 鴨川では、30～50羽の川鶉が飛来し、放流した稚魚(200～300kg)を数日で捕食するため対策が必要。
- 川鶉対策としては、テグス(釣り糸)を川に横断的に張るのが効果的であるが、多くの方が利用する鴨川で、テグスで傷ついた川鶉は好ましくない。
- 一方、テグスに換えロープでは効果があまり見られなかったため、KG+の協力を得てロープに展示シートを付けたところ、ロープが風で揺れることで大きな効果があった。
- 今回は、前回の府民会議の指摘を踏まえ、以下のようにA3～4程度のシートをロープに付け、効果を検証したい。

(川鶉対策イメージ)

